

遊びに来ませんか!

こちら子育て支援センター

子どもは社会の宝 地域の子どもは、地域で見守り育てよう

質問 子育て支援センターの主な活動内容を教えてください。

回答 未就園児の保護者を対象に、さまざまな支援活動を実施しています。子育ての悩み相談なども重要な役割ですが、日々、子育てに奮闘されている保護者の方が、お子さんと来て、ほっとできる息抜きの日々、子育ての場でもあります。

質問 支援センターの開設時間は?

回答 平成十八年度より支援センターとして、溝口保育所内に一部屋スペースを頂いており、毎週五日、「にっここデー」として開設しています。

場所 溝口保育所内
ひよこの部屋

開設日 週五日以上

時間 午前九時～十一時半



支援センターの様子

内容 午後一時半～四時 親子で自由に過ごせる日

質問 活動を通して、その目的とねらいは?

回答 支援センターで親同士の関係ができる。他のお子さんとの比較で、同年代の子の状況を把握できる。子供同士もお互い刺激し合う、といった点です。

質問 現在の利用状況は?

回答 平成二十年度実績で、

子ども 約一千五百人
保護者 約一千二百人

合計 約二千七百人です。

質問 今後の支援センターの方針についてお聞かせください。

回答 支援センターの存在も少しずつ町民の皆さんに認知されつつあり、利用者数も増えていきます。平成二十二年より人員も一人増となり、二人体制で臨みます。活動内容の充実を図り、月に一度、土曜日(九時～十一時半)にも「にっここデー」を開設。また、妊産婦を対象としたマタニティ広場も、月一回の開催を予定しています。



利用者交流クリスマス会

「議会だより」に対するご意見をお待ちしております。

【編集】
議会広報特別委員会
委員長 大森 英一
副委員長 渡部 勇
委員 幸本 俊徳
委員 勝部 天
委員 篠原 天

特に町外から転入された保護者の方にとっては、地元医療機関の情報などは非常に心強いものだと思います。とかく、孤独感を感じやすい現代の子育て環境にあって、保護者同士が交流し、意見交換し、刺激し合う支援センターの役割は今後もますます重要になります。

子育て支援センター
木村恵美子さん
町立溝口保育所 所長
兵江 律子さん

編集後記

地方経済の疲弊、国政の混乱など、わが町を取り巻く情勢は予断を許しません。それでも、春はやって来ます。満開の桜に心むむ季節となりました。「三月定例議会」、十一人の議員が一般質問に立ちました。まさに、論戦も百花繚乱ですが、これも、実は、現状に対する危機感のなせるわざなのかもしれません。大切なのは、華やかな議論が、将来、どれだけ実を結ぶのか? 議会は、その結実の秋まで、自らの責任を果たさねばならない! と痛感する次第です。

「議会だより」を通して、町民のみならず、議場の息吹を伝えられれば幸甚です。(篠原 天)



この議会だよりは再生紙を使用して印刷されています。